

Asiage

KYUSHU NATIONAL MUSEUM PRESS

やきもの大好き!!



焼酎大好き!!

色絵唐人物文大蓋物
(いろえからじんぶつもんおおふたもの)
江戸時代<文化庁蔵>

ラーメン大好き!!

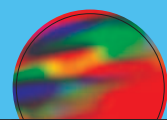
特集
日本のやきもの

05



ラーメン大好き!!
焼酎大好き!!
やきもの大好き!!

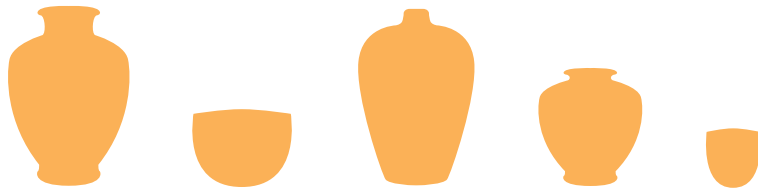
全国的なブームにもなった博多ラーメンや焼酎。
九州人がこよなく愛する名物ですが、
実は、もともと昔から人々に愛され続ける九州の名産があります。
それが、世界的にも人気を博す伊万里や鍋島などの、やきものです。
この夏、当館では日本のやきものの全貌を紹介する展覧会を開催いたします。
日本を代表するやきものの地・九州にて、わが国が持つやきものの歴史、
そして素晴らしき技と美を、たっぷりご堪能ください。



YAKIMONO,
Art of Japanese Pottery

日本のやきもの
文化庁海外展記念

7/7 Sat. ~ 8/26 Sun.



好*聴
聴いてみよう!

研究員の遠藤啓介さんに、 「日本のやきもの - 選び抜かれた名宝120点 - の魅力をききました。」

誕生—原始・古代から、 独創—近現代まで

日本のやきものの変遷は、国の歴史と密接に関わっています。時には徐々に、時には劇的に…時代によって異なる多種多様な変化は、見ていてとても面白いものです。本展では、「誕生」「発展」「爆発」「飛翔」「洗練」「風雅」「独創」という7章で、やきもの歴史の全貌をご紹介します。全国から集まった120点の名宝によって、変遷の様子を視覚的に楽しみいただきます。やきもの展覧会は数多く開催されていますが、本展のように原始から近現代までのやきものが一堂に並び、またあわせて海外の関連作品18点が集まるのは、全国的にも初めての試みとなります。

日本の心、
召し上がれ



交流課研究員
遠藤啓介

東洋陶磁史専門。学生時代、遺跡調査中に発掘した陶磁器に魅せられ、この世界へ。出身は東京で、九州に来てからというものの温泉巡りが趣味。温泉効果か、いまや“白磁の肌”を持つ。

撮影協力：飯冨弘子
※写真は合成です。

赤楽茶碗 銘 無一物
長次郎作
＜瀬川美術館蔵＞

ヨーロッパも圧倒!?時代の先駆け

1万2千年前、世界最古ともいわれる縄文土器が誕生。それから中国などの影響を受けながら発展していった日本のやきものは、桃山時代の茶の湯文化によって大きく造形を変えました。それは、まさに創造の「爆発」でした。拳でぐにゃと歪めたような花器や、釉薬を一部塗っていない茶陶など、柄も形も自由奔放。利便性よりもアート性が高く、個人的で現代の美術にも通じます。西洋美術でこのような抽象的な造形が生まれるのは20世紀に入ってですから、日本の方が実に400年ほど早く進んでいたんですね。第3章では、その前衛的な創造性をご覧ください。



左：灰釉画花文瓶子(かいゆうかつかもんへいし)
瀬戸 鎌倉時代＜愛知県陶磁資料館蔵＞

右：青白磁唐子唐草文梅瓶
(せいはいくじからこからくさもんめいびん)
中国・景德鎮窯 南宋時代＜京都国立博物館蔵＞

中国陶磁の模倣をもとに独自の釉をかけるやきものとして発展した瀬戸焼(左)と、その元となった中国陶磁(右)。本展ではこのように、海外との比較展示も行いながら、日本のやきもの歴史を辿る。



【重要文化財】

色絵花卉文輪花鉢(いろえかきもんりんかばち)

伊万里(有田)・柿右衛門様式 江戸時代＜広島県立美術館蔵＞
柿右衛門は文様に目が行きがちだが、実は地の白が美しいやきもの。乳白色のような温かみのある「濁手(にごで)」という素地(そじ)に、上絵具で彩色する技法は、文様をより鮮やかに見せる。

続く第4章では、磁器が誕生して50年もたないうちに世界へと「飛翔」した伊万里(有田)のやきもの数々をご紹介します。清朝の海禁令により、中国陶磁器の代わりにヨーロッパに購入されるようになった染付や柿右衛門、色絵などの伊万里焼は、ヨーロッパで人気を博し、コレクションされたり、その技法を真似されたりしました。また驚くことに、ベルリン郊外に建つオラニエンブルグ城の天井画には、天使の持つ壺の中に柿右衛門の絵もあつたりするのですよ。

本展では、日本のやきもの成り立ちに深い関わりを持つ中国のやきものや、逆に日本が影響を与えたヨーロッパのやきものから多角的に日本のやきものについて知ることのできる絶好の機会です。

好きな一品はどれ？ やきもの占いもお楽しみに!

家庭でもお店でも、和食の場合、料理別に柄や形が違う皿で出てきますよね。私たち日本人は、和食器の組み合わせのコツ…やきもの楽しみ方が自然に身についているわけです。日本人にとって、やきものは決して難しいものではなく、暮らしの中に溶け込んだものなのです。会場では、展示品から好きなものを1つ選んでいただき性格判断をする「やきもの占い」もあります。これを機会に、好きなやきものを1つでも見つけていただければ、嬉しい限りです。

好*見
見てみよう

「日本のやきものー選び抜かれた名宝120点ー」 展示品ダイジェスト

直径30cmの大皿。
大胆な構図に釘づけ



尾志野草花文大鉢(ねずみしのそうかもんおぼち)

美濃

桃山時代・16世紀<文化庁蔵>

中央に太湖石(たいこせき)や撫子風の花文を、周辺には宝尽(たからづくし)文と幾何文を大胆にあしらっています。重みのある器形も桃山時代らしく独特ですね。

やきものって、
それとも絵画?

① 色絵紅葉図透彫反鉢
(いろえもみじすかしぼりそりばち)

京都/尾形乾山作

江戸時代・18世紀前半<個人蔵>

斜め上から見ると外側と内側に描かれた絵が一体化して見えます。3次元の空間で絵画を表した名品中の名品!



王朝の雅の「うぐいす」
浅緑

②【重要文化財】緑釉四足壺
(りよくゆうしそくこ)

猿投

平安時代・9世紀<当館蔵>

際の部分にたまった釉薬が厚みのある緑色を生みだし、表面の薄い緑との美しいグラデーションを醸し出しています。



【重要文化財】色絵牡丹文水指(いろえぼたんもんみずさし)
京都/野々村仁清作
江戸時代・17世紀<東京国立博物館蔵>



葆光彩磁瑞花鳳凰文花瓶
(ほこうさいじずいかほうおうもんかびん)
板谷波山作
大正12年頃(1923年頃)<出光美術館蔵>



③ 色絵赤玉雲龍文鉢(いろえあかだまうんりゅうもんはち)
伊万里(有田)
江戸時代・17~18世紀<田中丸コレクション>

好*聴

ズバリ当たる!? やきもの占いで、性格診断

上で紹介しているやきもの(①、②、③)から、好きなものを1つ選んでください。あなたの性格、占ってしんぜましょう。

①「色絵紅葉図透彫反鉢」を選んだあなた…常識にとらわれない新しい考え方が出来、暮らしを楽しんでいる人。インテリア・コーディネーター向き。ラッキーカラーは抹茶色。

②「緑釉四足壺」を選んだあなた…穏やかな性格で安らぎを与えてくれる癒し系の人。カウンセラー向き。ラッキーカラーは赤。

③「色絵赤玉雲龍文鉢」を選んだあなた…華やかさ、派手さを好む人。金融業向き。ラッキーカラーはうぐいす色。

このように会場では「やきもの占い」を開催します。対象となるのは全138点中約30点で、その作品には札をつけています。この中から好きな作品を1つ選んでください。診断結果は、会場出口にて発表します。

日本のやきもの展に 参加しよう!

好*触 1.親子で楽しむワークショップ やきもの不思議発見!

一見、不恰好なお茶碗に隠された秘密とは? やきものに触れながら、意外と知られていないやきもの不思議にせまります。きっと、やきものが身近になりますよ。

第1回:7月29日(日)14:00~15:30
第2回:8月19日(日)14:00~15:30

対象:小・中学生と同伴の大人
定員:各回 10組

申し込み方法:官製往復はがきの往信用裏面に必要事項を明記の上、下記の宛先までお申し込みください。

- 希望日 ○ 郵便番号 ○ 住所
- 参加者全員の氏名(ふりがな)とお子さまの学年
- 電話番号

宛先
〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
九州国立博物館 交流課
「親子で楽しむ やきもの不思議発見」係

締め切り:第1回:7月17日(火)(消印有効)
第2回:8月6日(月)(消印有効)

*1枚のはがきて1回のワークショップのみ
申し込み可。応募多数の場合は抽選になります。

お問い合わせ:
九州国立博物館交流課 tel.092-929-3294

2.ベタベタ べったん みんなで作ろう 皿(さら)・壺(つぼ)・鉢(はち)!

展示されているやきものが大きくなって登場! みんなで色紙を貼って、やきものの模様や色のおもしろさを体験しよう。

3.やきものチャート

展示室の入り口で、チャートがあなたを待っています。あなたのやきものタイプがわかるよ。

4.やきもの占い

好きなやきものを選びながら、展覧会を楽しんでみましょう。あなたが選んだやきものから、あなたの性格を占います。あなたの意外な一面を発見できるかも。

好*聴 「日本のやきもの」展 記念講演会(聴講無料)

7月22日(日)14:00~15:30

①林屋晴三 東京国立博物館名誉館員「桃山の茶陶」

8月4日(土)14:00~15:30

②伊藤嘉章 九州国立博物館 企画課長
「華やかな江戸の陶磁」

定員:300名

申し込み方法:官製往復はがきの往信用裏面に必要事項を明記の上、下記の宛先までお申し込みください。

- 希望講演会(①・②) ○ 郵便番号 ○ 住所
- 氏名(ふりがな)

宛先

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
九州国立博物館 「日本のやきもの」展ミュージアム講座係

*1枚のはがきて1つの講演会にのみお申し込み可。
先着順に聴講券をお送りします。

好*見 「絵本カーニバル IN FUKUOKA 2007」参加事業

九博会場での会期:8月1日(水)~8月31日(金)

当館では、夏休みに“きゅーはくの絵本”をテーマにワークショップや、ギャラリートークを行います。文化交流展示室では、「! まいごのびーちゃん」や「% ぞくぞくぞぞぞ」に登場



する作品が展示されます。詳しくはホームページをご覧ください♪

http://www.kyuhaku.jp
(詳細は7月上旬アップ予定)

好*見 見てみよう

あじっば通信

アジアを中心とした国々の文化や歴史を、見たり触ったりしながら体験できる展示室「あじっば」からのお知らせです。

韓国文化に触れてみませんか? 九博で韓流、「アンニョンハセヨ~!」

あじっば広場右奥の「あじ庵」は、ひとつの国や地域を選び、その場所の特徴的な文化を紹介するコーナーです。6カ月毎に展示替えを行っており、現在はお隣の国・韓国の文化を紹介中(10月まで)。パッチワークのように端切れを縫い合わせた韓国の伝統工芸「ボジャギ」、民族衣裳などを展示しています。また、韓国の食器に触れながら日本と異なる食文化の背景も体験できます。



淡い色のボジャギは、涼しげな雰囲気たっぷり。

また、子ども向けのワークショップも随時開催しています。今回は、ボジャギをテーマにした貼り絵2種類と、塗り絵1種類を用意しています。



いろいろな色を組み合わせ、オリジナルのボジャギを考えよう!



民衆に親しまれた民画。虎が煙草を吸っている姿などユニーク。

女性用のチマチョゴリや、男性用のバンジョゴリなど、民族衣裳を展示。

夏休みは、九博にて…

好*見
見てみよう

旅する。

夏休みの計画は立ちましたか？海や山、海外などへ行くのもいいですね。でも、ちょっと変わった旅を今年は経験してみませんか？九博では、いろんな旅があなたをお待ちしています。



インド更紗

インド・ムガル時代 17~18世紀
＜東京国立博物館蔵＞

その鮮やかな色調が好まれ、大航海時代に世界各地に向けて輸出されていたインド更紗。例えば日本向けに扇子模様、中国向けに花鳥模様など、各地域の好みに合わせ、デザインされていたようです。ハートに天使を描いたこちらは、ヨーロッパに向けたものかもしれません。
展示期間：7/3~9/3

世界を風靡した、インド更紗ブーム

日本アルプスをはるばる越えて



ヒスイ製大珠

縄文時代中期 静岡県出土
＜東京国立博物館蔵＞

縄文時代、ヒスイは新潟県の姫川流域のものしか利用されませんでした。したがって北海道から近畿地方で出土しているヒスイ製大珠は、新潟から各地に運ばれたものであることが分かります。淡い緑色に輝くヒスイの胸飾り。縄文人にとって、はるばる山を越え谷を越えるほどの魅力的なものであったのでしょうか。

唐へ渡るための、パスポート

円珍関係文書(部分)

平安時代・唐時代 9世紀
＜東京国立博物館蔵＞

天台宗の名僧・円珍が密教を学びに唐へ渡る際に発行された証明書で、年齢(当時41歳)、従者名、所持品など詳細が事細かに記されています。発行元は大宰府。継ぎ足された文書から、入唐後は滞在許可をもらいながら各地を巡礼したことが分かります。
展示期間：9/26~10/21

馬に乗って
いざ参ろう、来世へと



王塚古墳出土馬具

古墳時代 6世紀中期
＜桂川町蔵＞

【重要文化財】

福岡県の王塚古墳(嘉穂郡桂川町)からは写真の「轡(くつわ)」のほか、多くの馬具類が出土しています。きっと王があつた世へと立立つ際の副葬品としてさげられたのでしょう。馬具のほか王塚古墳出土品を、現在特集陳列しています。京都国立博物館からの久々の里帰りです。お見逃しなく!



憧れの世界へ
思い巡らす、
空想の旅

世界及日本地図屏風

(写真は世界地図屏風 部分)
江戸時代・17世紀後半
＜東京国立博物館蔵＞

ちょっと変なところもありますが、それなりに正確な地図です。中央にあるのが世界図で、上部左右には北極と南極があります。この屏風は、日本人の海外渡航が禁じられた江戸時代17世紀半ば以降に描かれました。世界を旅することができなかった当時の人々は、地図を眺めて思いを巡らしていたことでしょうか。
展示期間：8/21~10/8(予定)



壮大な時間を巡る、2人旅

～文化交流の道「シルクロード」と、遣唐使～

日本とアジアおよびその先との文化交流史を紹介する文化交流展示室では、各地方の文化や歴史など、時空を超えた旅をすることができます。今回登場のお2人には、「遣唐使の時代」セクションにある「遣唐使とシルクロード」の部屋を一緒に巡っていただきました。東西の文化が行き交ったシルクロードと、日本と唐の文化を運んだ遣唐使。その文化や歴史を基信さんがご案内。そして梅本さんが、この旅で感じたものとは…？



銀製馬像 5～7世紀

ササン朝ペルシャ
シルクロードの中継地であった大帝国ササン朝ペルシャでは、王侯貴族を中心に馬が用いられていたことが、銀皿の絵柄や像など多くの出土品から分かります。シルクロードを馬で旅することもあったかもしれませんね。

※写真は合成です。

基信 西のローマと東の長安（そして大宰府・奈良）を結んでいた国際交易路「シルクロード」。中国から西方世界に向けて、絹などの工芸品が輸出されたことはよく知られていますね。でも決して一方通行ではなく、実は西と中国の間をいろいろなものが行き交っていたのです。

梅本 どんなものが交易されたのでしょうか。

基信 こちらで展示しているガラス製品や陶磁器などのほか、毛皮や宝石、珊瑚、真珠、羅針盤、火薬など様々です。また中国の「唐三彩」と

いうやきものの技法が、西へ伝えられて「イスラム三彩」として実を結んだ例なども見られます。つまり、シルクロードは単なる交易路ではなく、技術やアイデア、そして宗教など東西の文化の交流経路として重要な役割も果たしていました。

梅本 日本とシルクロードの関係は？

基信 それでは、遣唐使船の甲板の様子を復元したコーナーに行ってみましょうか。……ここでは、片側に天皇から唐の皇帝へ向けた献上品を、もう片側に唐から日本への贈り物を復現して陳列しています。日本から唐へのお土産として砂金や真珠、椿油などが、唐からは經典や香木や香辛料などが運ばれてきました。

大般若経<復元品>
遣唐使によって唐から多くの經典も伝来。船が難破した場合に備えて、經典の巻物は白檀（びやくたん）製の木筒に入れて運ばれました。



カット装飾ガラス
イラン・キーラーン州・6世紀
<中近東文化センター蔵>

白瑠璃碗
<復元品>

「白瑠璃碗」は、1250年前に中国から伝わったままの色味と透明感を残しています。イランから出土した「カット装飾ガラス」も、土中に埋もれる前はきっと同じように輝きを放っていたことでしょう。

梅本 このガラス器2つは、よく似ていますね。

基信 遣唐使が持ち帰り正倉院に伝えられた「白瑠璃碗」の複製です。どちらもペルシャガラスですが、一方はペルシャに残り、一方はわが国に伝えられたこととなります。まさに数奇な運命を辿った作品といえます。

梅本 シルクロードを介して壮大な交流が繰り返されたんですね。



ローマガラス
東地中海地方・3～5世紀<中近東文化センター蔵>
シルクロード西端から出土したローマガラス。ペルシャガラスに比べて薄手で。一説によると、ペルシャガラスは、ラクダでシルクロードを旅する際に割れにくいようかなり厚手に作られたそうです。

